

小岩信治（こいわ・しんじ）

一橋大学大学院言語社会研究科教授。博士（Dr. phil., ベルリン芸術大学）。19 世紀のピアノ文化史を中心に研究。著書に『ピアノ協奏曲の誕生—19 世紀ヴィルトゥオーソ音楽史』（春秋社, 2012）、共著書に『ピアノを弾く身体』のほか、論文「時空を越えた『デビュー用』ピアノ協奏曲—東京音楽学校におけるフンメルの《協奏曲》イ短調、作品八五」など。静岡文化芸術大准教授として、三枝成彰総監修のもと、同大学生が企画・運営し鍵盤楽器のコンサートや講演を2日間に80公演開催する音楽祭「バンバン！ケンバン♪はままつ」を監修（2012）。2013年に一橋大に着任後、大学院生とともに本邦の音楽文化への貢献に対して毎年「四十雀賞」を授与する活動などを通じて、文化政策、音楽産業などを含めた多様な視点からの音楽文化の考察を試みている。2014-16 年科研費プロジェクト「20 世紀序盤の本邦における和洋の共鳴 - 楽器の響きから考えるピアノ文化」研究代表者として、明治・大正期に日本に存在したピアノの調査も実施している。

